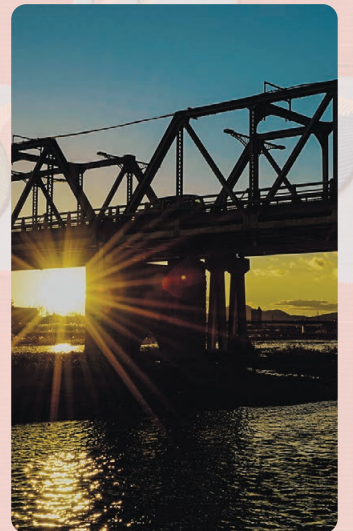




足利市都市計画 マスタープラン

概要版

足利市の都市計画に関する基本的な方針



都市計画マスタープランとは

計画の位置付け

都市計画マスタープランとは、都市計画法に規定されている「市町村の都市計画に関する基本的な方針」であり、住民に最も近い立場にある市町村が、住民の意見を反映しながら策定する計画です。

「足利市都市計画マスタープラン」は、「第7次足利市総合計画」及び「足利佐野都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」に即し、都市全体や各地域の将来像を示すもので、今後、個別具体の都市計画を行うための基本的な方針となります。

策定の目的

本市の都市計画マスタープランは平成9年8月及び平成19年3月に策定しましたが、直近の策定から概ね10年が経過し、その間に、人口減少のほか、北関東自動車道の開通、足利赤十字病院の移転開院、新産業団地の事業化など、本市を取り巻く環境は大きく変化しています。

また、このような環境の変化に対応するため、都市計画マスタープランの上位計画である「第7次足利市総合計画」及び「足利佐野都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」のほか、「足利市まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び「足利市人口ビジョン」が策定されています。

このことから、都市計画に関する基本的な方針である足利市都市計画マスタープランを策定するものです。

計画の役割

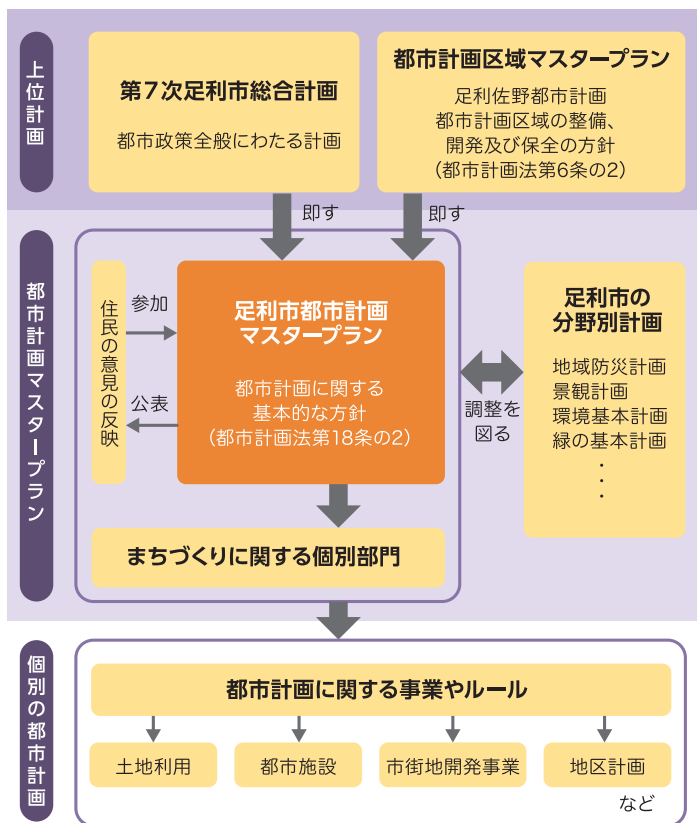
「目指すまちの姿」を市民、事業者、行政が共有できるようにわかりやすく示します

都市計画法に基づく個別具体の都市計画の決定または変更を行う際の方針となります

まちづくりへの多様な主体の参画を促します

計画対象区域・目標年次・将来人口

計画対象区域	都市計画区域である本市全域
目標年次	長期の都市の姿を見据え、具体の整備については平成33年度(2021年度)
将来人口	中長期的な人口の将来展望を示した「足利市人口ビジョン」に準拠 平成37年(2025年) 138,799人 平成47年(2035年) 127,957人





計画のテーマ

多彩な地域と人が織りなす 輝くまち 足利

足利市都市計画マスタープランのテーマは、多彩な地域と人が協調し合い、輝くまちをつくることを、本市の伝統産業である「織物」に形容して設定しました。

また、織物産業が栄えた時代は、本市に大きなにぎわいがあった時代でもあります。今後のまちづくりにおいても、にぎわいのあるまちとするため、まちづくりの基盤である都市計画を着実に実施していくことも計画のテーマとしています。

基本目標

<p>誰もが健やかで安全安心に暮らし続けることができるまちづくり</p>	<p>子育て世代や高齢者などが安全安心に暮らせる都市を構築するとともに、いつまでも元気で豊かな生活を送れる環境づくりを推進します。</p>	<p>鹿島橋山下線</p>
<p>災害に強く安全性の高いまちづくり</p>	<p>これまでの災害の教訓を活かし、被害を未然に予防する防災対策や、被害を最小限に抑える減災対策などにより、災害に強いまちづくりを推進します。</p>	<p>中橋 水のう訓練</p>
<p>持続可能で時代のニーズに対応したまちづくり</p>	<p>都市機能の集積を促進する拠点を市内各所に配置し、これらを公共交通ネットワークなどで有機的に連携させ、暮らしやすさや、都市の持続的な発展を促します。</p>	<p>あしががフラワーパーク駅</p>
<p>足利固有の魅力ある資源を活かした個性が際立つまちづくり</p>	<p>本市の財産である足利学校や鑊阿寺などの歴史・文化資源を活かすとともに、豊かな自然環境との調和に配慮した、足利らしい魅力あふれる都市の形成を図ります。</p>	<p>鑊阿寺 本堂</p>
<p>多様な産業活動を支えるまちづくり</p>	<p>既存産業団地周辺や、広域交通道路、主要幹線道路、補助幹線道路沿線などを中心に、新たな産業系用地の開発を進めるとともに、既存産業団地の適切な保全を図ります。</p>	<p>あがた駅南産業団地</p>

将来都市構想

まちづくりの基本方針

本市のこれからのまちづくりは、各地域における既存ストックを活かし、都市機能の集積拠点や生活拠点の形成を進め、これらの拠点を中心ににぎわいを創出しながら、拠点間の連携を図ることで、一体的かつ持続可能なまちづくりを目指すことを基本方針とします。

基本方針に基づくまちづくりの推進

基本方針に基づいたまちづくりを推進するために、《骨格的土地利用》《都市の核となる拠点の形成》《都市軸、ネットワーク》を設定します。

骨格的土地利用

▶ 本市を4つのゾーンに区分し、都市的土地利用を促すゾーンと自然環境を保全するゾーンとの役割分担により、都市の健全な発展と秩序ある土地利用を推進します。

- 市街地中心部ゾーン
- 都市的土地利用ゾーン
- 田園的土地利用ゾーン
- 自然的土地利用ゾーン

都市の核となる拠点の形成

▶ 必要な都市施設を集積した拠点づくりを進めるとともに、拠点間や周辺都市との連携による相互補完により、効率的な都市機能の利活用と都市の持続的な発展を促します。

- 広域拠点
- 地域複合拠点
- 地域生活拠点
- 産業振興拠点
- 観光レクリエーション拠点
- 歴史的景観形成拠点
- 地域防災拠点

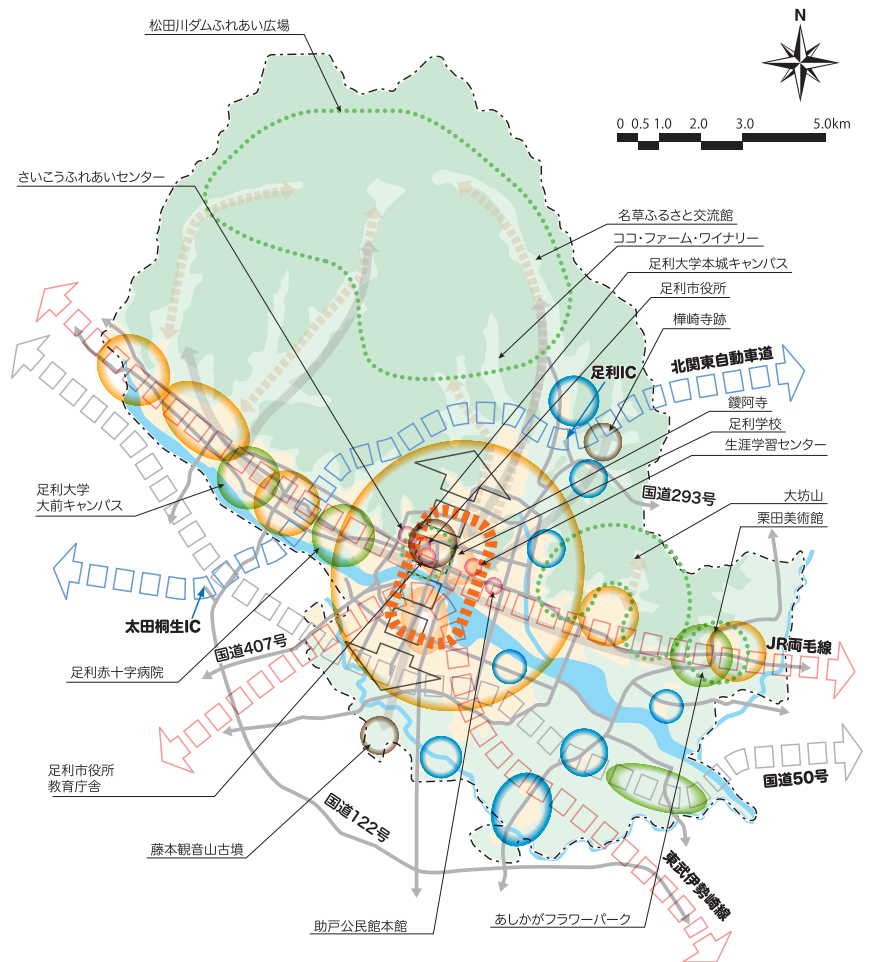
都市軸、ネットワーク

▶ 地域の拠点や個性ある地域資源を交通網により連携し、移動の利便性や回遊性の向上を図ります。

▶ 地域間の連携を強化することにより、人や物の流れを戦略的に活性化させ、まちづくりの好循環を生み出します。

- 広域連携軸
- 都市間連携軸
- 都市内連携軸
- 観光連携軸

将来都市構想図



骨格的土地利用	都市の核となる拠点	都市軸、ネットワーク
市街地中心部ゾーン	広域拠点	広域連携軸
都市的土地利用ゾーン	地域複合拠点	幹線道路
田園的土地利用ゾーン	地域生活拠点	都市間連携軸(東西方向)
自然的土地利用ゾーン	産業振興拠点	都市間連携軸(南北方向)
	観光レクリエーション拠点	都市内連携軸
	歴史的景観形成拠点	観光連携軸
	地域防災拠点	

分野別構想

土地利用の方針

各地域の生活環境や特性に応じた、にぎわいある都市活動や豊かな暮らしが展開されるよう、まちづくりの基本となる土地利用を計画的に進めます。

また、農地や森林などの保全、活用による、自然環境と調和の取れた地域づくりを進めます。

基本的な考え方

持続可能なまちづくりの推進

- ▶ 都市機能が集積する拠点や地域の生活拠点を設定し、これらを公共交通などでつなぐことにより、一体的かつ持続的な発展につながるまちづくりを推進します。

豊かなライフスタイルに対応した質の高い住環境の形成

- ▶ 地形や自然条件、歴史的背景、都市基盤整備の進捗などによって、地域ごとに個性ある住宅地が広がっています。今後もこれらの特長を活かし、都市的なサービス環境を享受できるまちなかの居住や、緑とのふれあいを大切にしたい田園居住など、多様化した住宅ニーズに対応するまちづくりを推進します。

魅力ある商業、業務地の形成

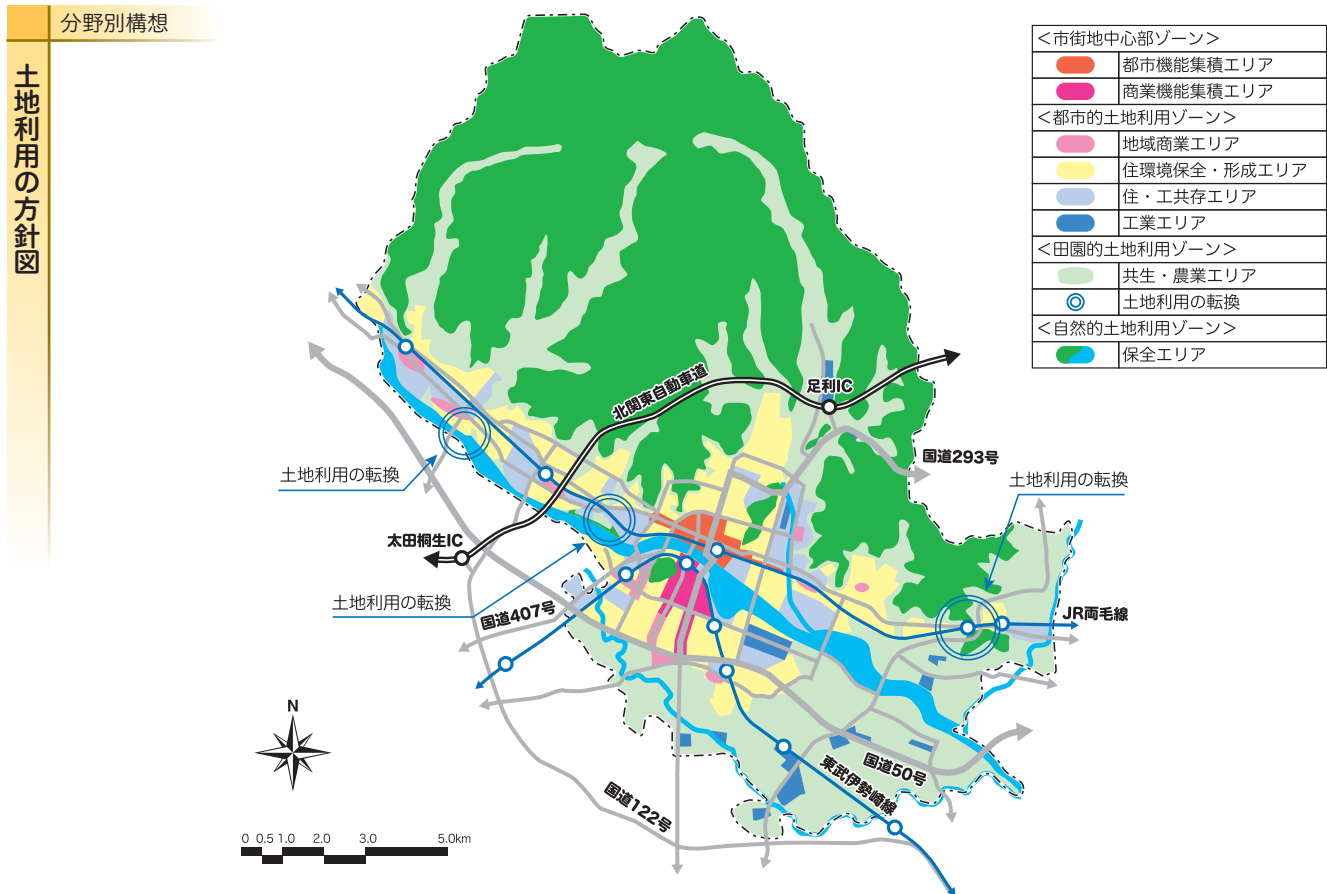
- ▶ 河北地域の都市機能集積地と河南地域の商業機能集積地の適切な役割分担を図り、互いに連携しながら商業、業務地の充実を図るとともに、日常的な買物や生活サービスが受けられる商業地などを地域生活拠点へ配置します。

地域経済の活性化や雇用の場の確保に向けた産業拠点の充実、新たな産業の振興

- ▶ 既存産業団地の保全、活用を図るとともに、さらなる都市活力の向上、働く場の創出などの観点から、新たな産業系用地の開発を進めます。

豊かな自然や優良農地の保全

- ▶ 自然環境の維持、良好な景観の形成、水源のかん養など、農業の有する多面的機能を創出する場として、農地及び山林の保全に努めます。



都市交通の方針

これからのまちづくりでは、市内各所に配置された「都市の核となる拠点」を中心に、誰もが利用しやすい交通手段で連携するなど、バランスの取れたまちづくりが必要となります。

このため、鉄道や生活路線バスなどの公共交通や歩行者、自転車の利用環境を充実していくとともに、自動車交通との連携や適正な役割分担を図ることにより、誰もが安全で円滑に移動できる総合的な交通体系を構築します。

基本的な考え方

公共交通

公共交通の利用促進

- ▶ これからの高齢化社会や環境問題に対応するため、公共交通の充実を図り、自動車に過度に依存しない、公共交通を中心とした都市構造を構築します。

道路網

公共交通網と連結した道路網の構築

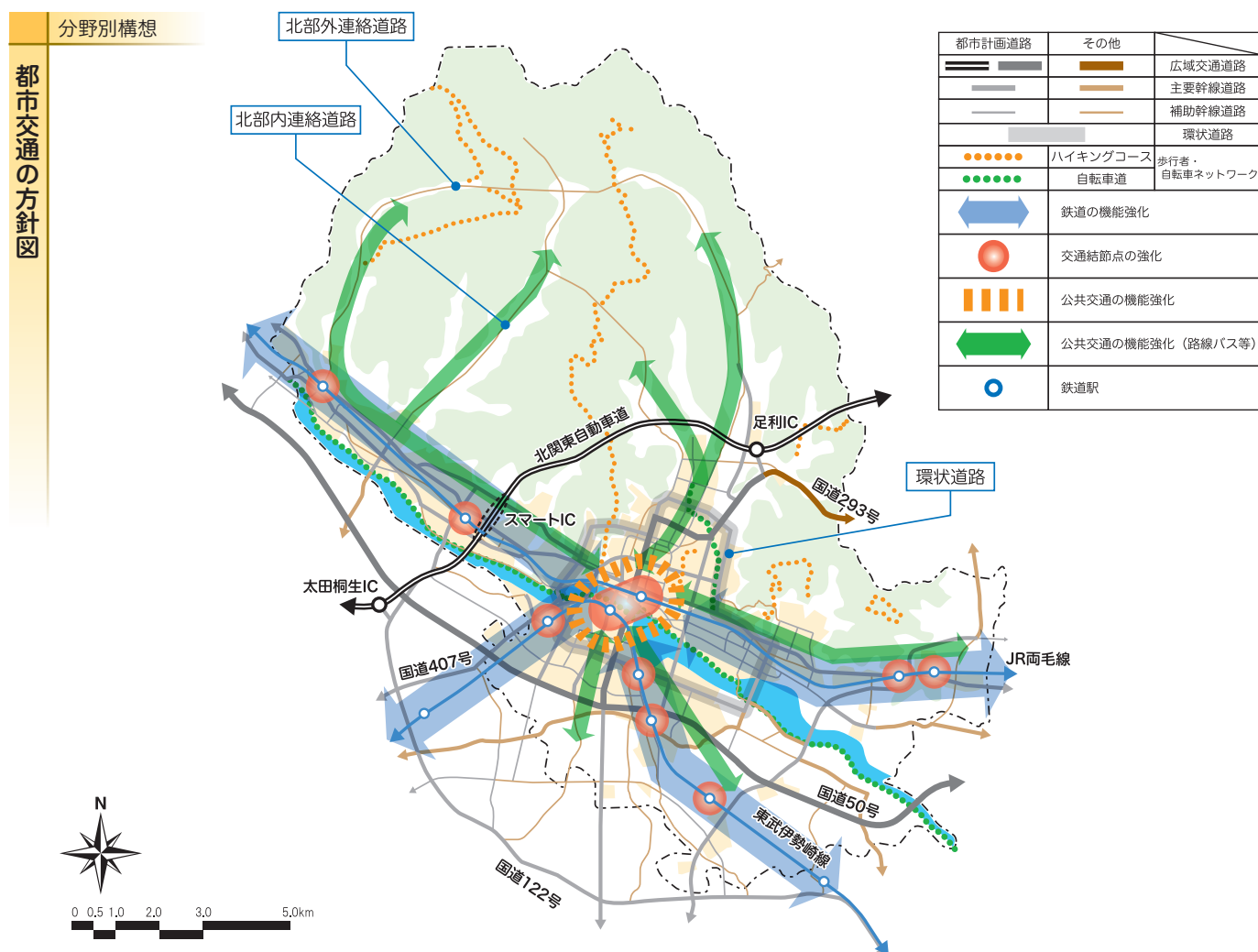
- ▶ 市街地中心部の交通の整流化及び地域交通の利便性向上を図るため、鉄道駅などの交通結節点をつなぐ体系的な道路網を構築します。

利便性を高める交通環境の充実

- ▶ 広域拠点と地域生活拠点をつなぐ幹線道路の整備を促進し、市内の道路網を強化するとともに、周辺都市へのアクセス道路を整備することで、両毛地域の移動の円滑化を図ります。

歩行者に快適なみちづくり

- ▶ 通学路や公共施設の周辺では、安全で安心に通行することができる歩道整備に取り組みます。
- ▶ 足利駅から足利学校、鏝阿寺、織姫神社間は、スマートウェルネスシティ(歩いて健康になるまちづくり)を推進し、市街地中心部における回遊性の向上を図ります。



生活・環境の方針

安全、安心で快適な市民生活を営む上で必要不可欠である、上下水道などのインフラ系公共施設やごみ処理場、火葬場などの建築物系公共施設は、計画的に整備を進めるとともに、公共施設マネジメントを推進し、将来にわたり持続可能で利便性の高い公共サービスを提供します。

基本的な考え方

快適で衛生的な生活環境の維持

- ▶ 快適で衛生的な生活環境を維持するため、上水道や下水道の計画的な整備を行い、安定的な水道水の供給、し尿や生活雑排水などの適正な処理を進めます。

安全で快適な水辺環境の形成

- ▶ 自然環境と調和した水辺空間の形成や水質の保全により、安全かつ美しい水辺を創出し、良好な景観と一体となったまちづくりを進めます。

循環型社会に配慮したまちづくり

- ▶ 「使い捨て」型のライフスタイルから「ごみ減量とリサイクル」を基調としたライフスタイルへの転換を進めることを基本理念とし、これを実現するための具体的な取組を通じて、循環型都市の形成を目指します。

都市防災の方針

東日本大震災や関東・東北豪雨をはじめとした近年の自然災害に対応するため、インフラ施設や市街地の整備などのハード対策を計画的に取り組みむとともに、防災情報の提供などのソフト対策の充実を図り、これらが一体となった、災害に強いまちづくりを推進します。

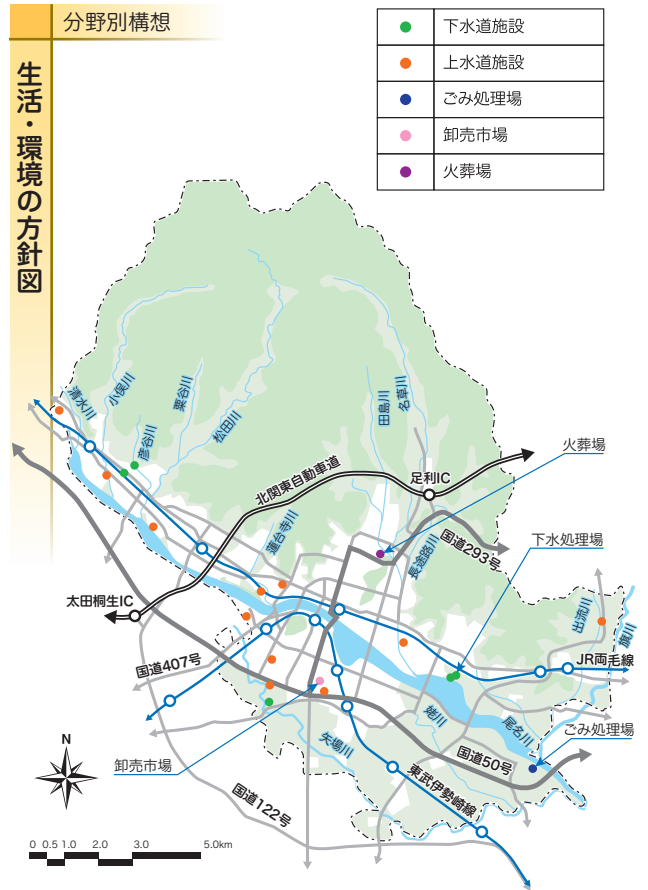
基本的な考え方

災害対策の充実

- ▶ これまでの災害の教訓を活かし、被害を未然に予防する防災対策や、災害が発生した場合であっても被害を最小限に抑える減災対策などを組み合わせることにより、災害に強いまちづくりを進めます。
- ▶ 地域の防災基盤を整備するとともに、避難場所、避難路、緊急輸送道路の防災空間を確保するなど、防災体制の強化を図ります。

市街地における浸水地域の被害軽減

- ▶ 有事の際、本市に与える影響が大きい河川の重要水防箇所などは、国及び県と連携し、その対策に取り組みます。
- ▶ 市街地における浸水地域の被害を軽減するため、雨水排水施設を計画的に整備し、治水機能の向上を図り、河川改修とあわせた総合的な治水対策を推進します。



公園・緑地の方針

公園・緑地は、豊かな都市生活を営む上で欠かすことのできない多様な機能を有していることから、大切な緑や公園・緑地を守り育て、計画的に整備するとともに、市街地を取り囲む骨格的な緑を保全、活用し、緑を身近に感じられる、安らぎのあるまちづくりを推進します。

基本的な考え方

美しい緑の継承

- ▶ 長い年月をかけて培われてきた歴史、文化の背景をなす、優れた緑を積極的に守り育て、次世代に引き継ぐとともに、恵まれた自然環境を豊かな暮らしに活かします。

身近な暮らしの場での緑や水とふれあう空間の創造

- ▶ 安全で快適な暮らしを支え、子どもから高齢者まで誰もが気軽に利用でき、休憩や余暇活動など、市民の多様な要望に応えることのできる緑や水のオープンスペースを計画的に整備、創出します。

都市景観の方針

本市は、足尾山系の山なみと関東平野が接し、渡良瀬川が流れる、雄大な自然的景観を市内各所から望め、また、足利学校、鏝阿寺に代表される歴史ある市街地の景観も有しています。このような豊かな自然、風土を大切にしながら、都市全体として調和のある景観を長期的な視点に立ち、持続的に創出することで、足利らしい良好な景観の形成を図ります。

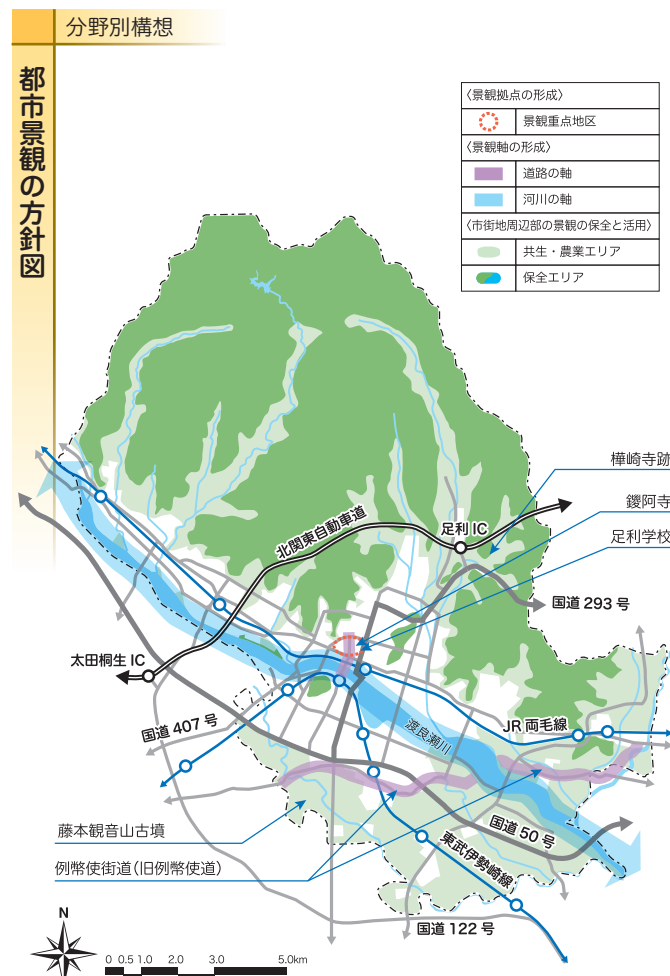
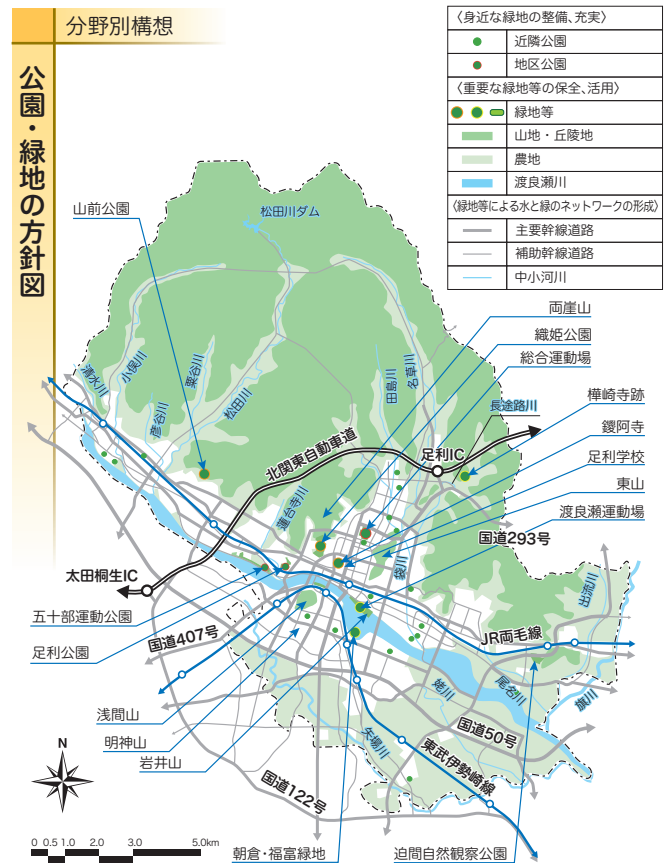
基本的な考え方

足利固有の歴史、文化、自然、風土を活かした魅力的な都市景観の創出

- ▶ 山なみや渡良瀬川といった自然がつくる景観、足利学校、鏝阿寺に代表される歴史ある市街地景観、榊崎寺跡や藤本観音山古墳がつくる歴史ある景観などを、次世代に引き継いでいくとともに、市民や訪れる人々が足利の魅力を感じ、心豊かに味わうことができる足利らしい景観づくりを進めます。

かけがえのない故郷の景観の保全、地域の特色を活かした景観の形成

- ▶ 各地域で異なる都市の成り立ちや自然環境、固有の歴史や文化を背景に、それぞれの地域に相応しい独自の景観が形成されていることから、これらかけがえのない故郷の景観を保全し、地域の特色を活かした景観づくりを進めます。



観光の方針

日本遺産である日本最古の学校「足利学校」や、その本堂が国宝に指定された「饗阿寺」などが存在する市街地中心部をはじめとし、周辺地域にも数多くの歴史的、文化的、自然的な資源が広がっています。これらの魅力ある観光資源を活かしたまちづくりに取り組みとともに、各観光資源を有機的につなぎ合わせる交通連携軸を構築し、市域全体を視点とした観光まちづくりを推進します。

基本的な考え方

多彩な地域資源の連携による観光振興

- ▶ 本市は、足利学校や饗阿寺をはじめとし、数多くの歴史的、文化的資源に恵まれています。また、北部の山なみ、南部の関東平野、中央の渡良瀬川など、風光明媚で豊かな自然環境を有しています。このような本市ならではの観光資源をつなぎ合わせ、市内回遊を促進することにより、魅力ある観光振興を推進します。

産業の方針

本市の産業を振興するため、地場産業の振興に取り組みます。また、産業の集積地である既存産業団地を適切に保全、活用するとともに、広域交通道路である北関東自動車道や国道50号をはじめとした交通網を活かして、新たな産業や働く場を創出するための産業系用地の開発を進めます。

旧県立足利西高等学校を有効活用し、映像のまち構想を推進することで、新たな産業と雇用の創出を図ります。

基本的な考え方

地域産業資源を活かした産業の振興

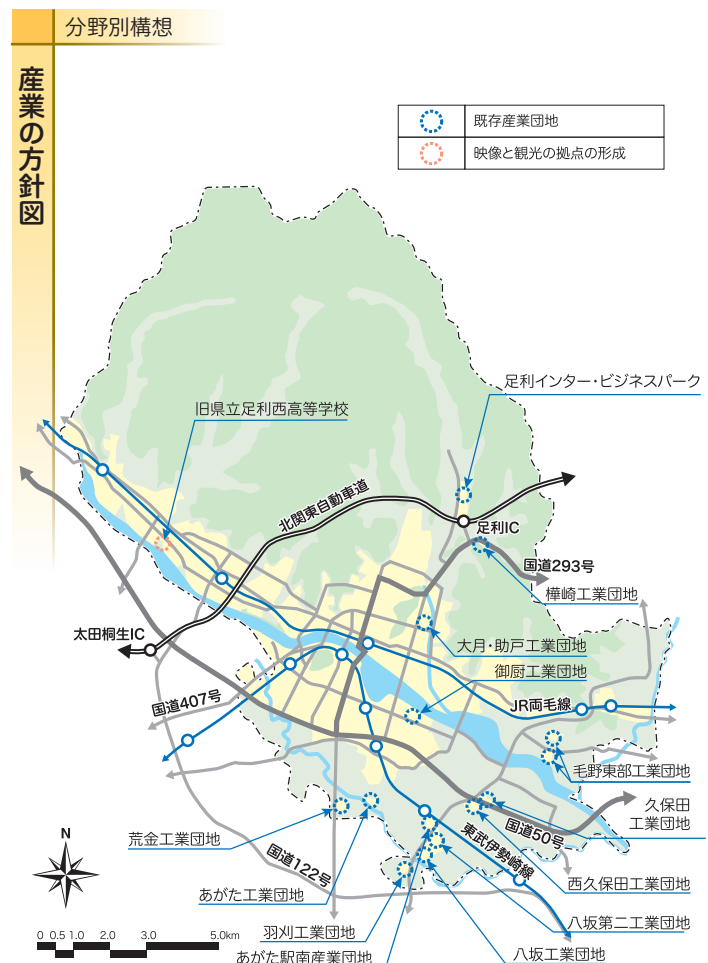
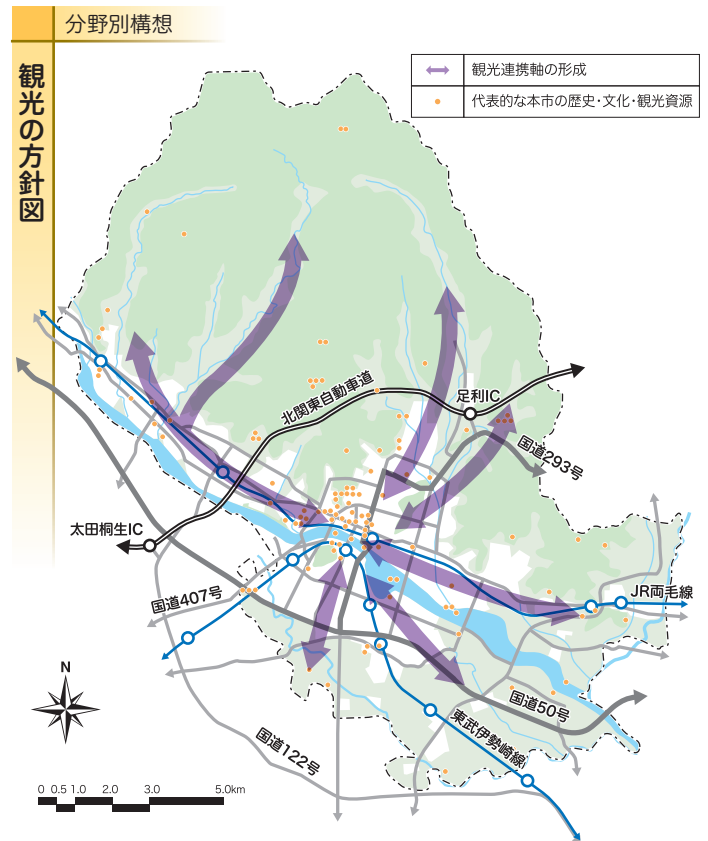
- ▶ 本市の中核を担うものづくり企業の成長を促すため、地域産業資源を活用し、様々な関係機関との連携により、地場産業の振興に取り組みます。

恵まれた立地環境や交通ネットワークを活かした産業の振興

- ▶ 東京から約80kmに位置する地理的優位性、北関東自動車道や国道50号などの優れた広域ネットワークを活かし、本市のさらなる産業の振興を図ります。

映像に関する産業の振興

- ▶ 本市が推進する「映像のまち構想」を通じて、「映像」をコンセプトとした産業の振興を図ります。



全体構想で示された骨格を基に、地域の個性や特性を取り入れながら、まちづくりの内容をより具体化するため、地域別構想を策定します。地域別構想では、地域ごとのまちづくりの方針を示します。

地域区分は左図のとおり、7地域に分けました。



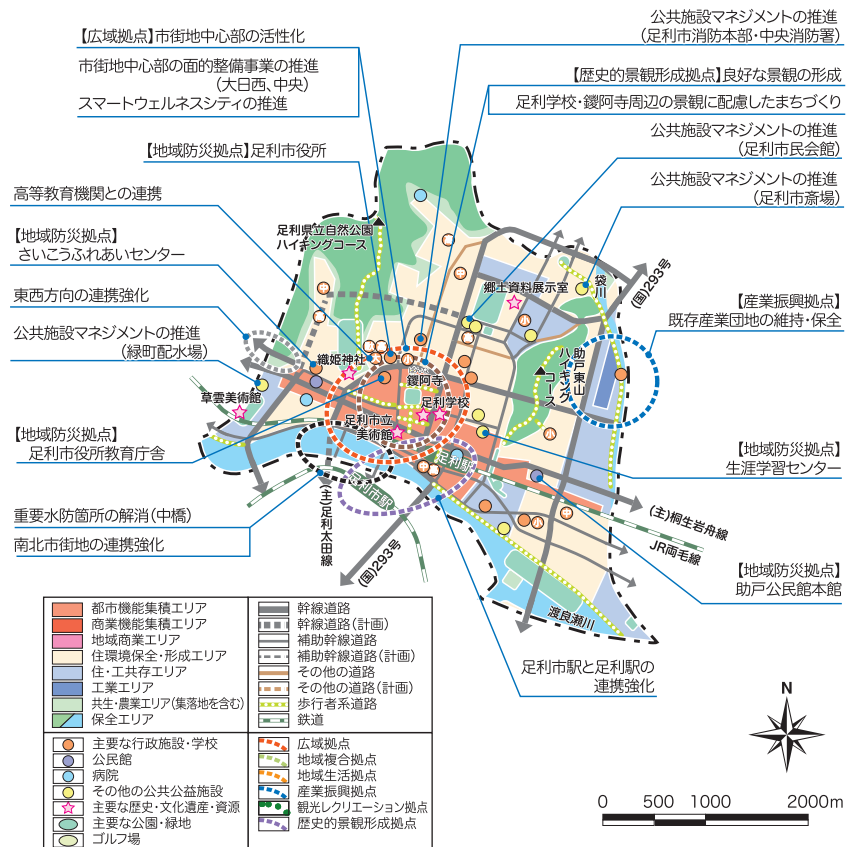
地域	テーマ
足利中央	歴史と文化にあふれる美しいまち
山辺・矢場川・御厨	にぎわいと活気のある楽しいまち・住みやすいまち
毛野・富田	様々な人々が交流する新たな活力を創造するまち
三重・山前	医療・教育・産業などの多様なサービスを生み出すまち
葉鹿・小俣・三和	自然に囲まれた暮らしやすい環境共生のまち
名草・北郷	自然豊かな北の郷潤いと安らぎのあるまち
筑波・久野・梁田	豊かな田園と活力が共存するまち

足利中央

歴史と文化にあふれる美しいまち

まちづくりの方針・プロジェクト等

- 市街地中心部では、土地区画整理事業などの推進により、安全安心で快適に生活でき、活気のある市街地の再生・再構築を進めます。
- 水害から都市機能の集積地や地域防災拠点などを守るため、中橋周辺の堤防嵩上げにより、災害に強いまちづくりを進めます。
- 土地区画整理事業及び中橋架替事業により、南北市街地の連携強化を図ります。
- 足利学校、鑿阿寺を中心とする歴史的地区は、良好な景観を形成する拠点として、景観重点地区に指定し、魅力的な景観づくりを推進します。
- 足利駅から足利学校、鑿阿寺や織姫神社などの区間において、スマートウェルネシティ（歩いて健康になるまちづくり）を推進します。
- 本市を代表する観光資源である足利学校、鑿阿寺と、市内の観光資源との連携強化を推進します。
- 本市の主要な交通結節点である、足利駅と足利市駅の連携強化を図ります。
- 既存産業団地において、機能の維持・保全を図ります。
- 老朽化した公共施設の適正な整備を進めます。
- 高等教育機関との連携により、魅力的なまちづくりを進めます。

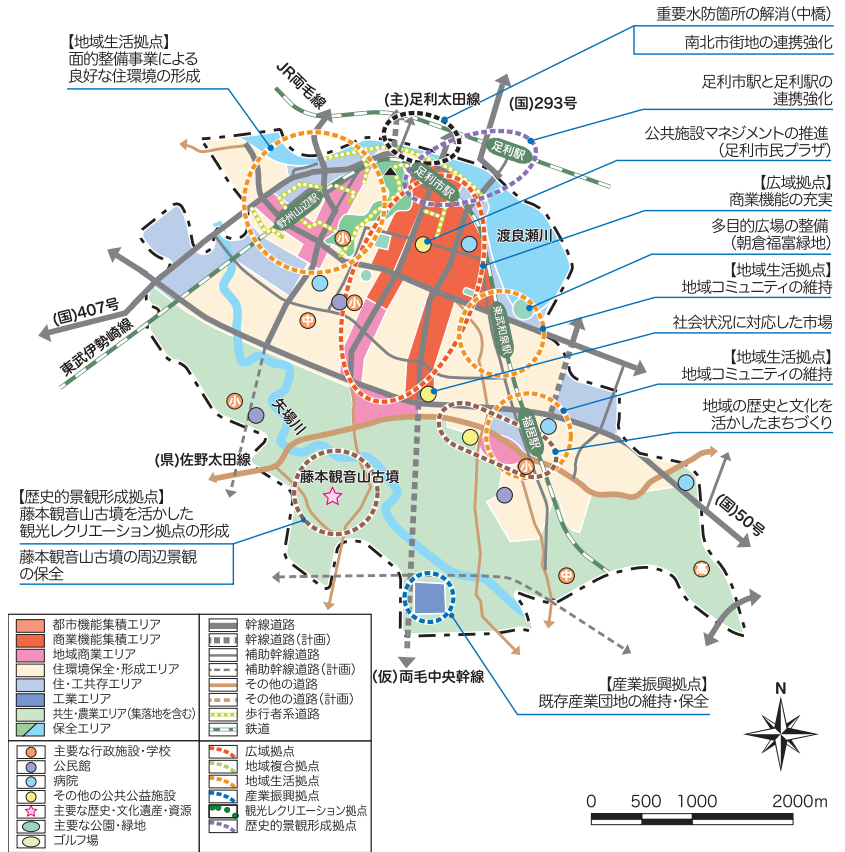


山辺・矢場川・御厨

にぎわいと活気のある楽しいまち・住みやすいまち

まちづくりの方針・プロジェクト等

- 山辺西部地区において、土地区画整理事業などにより、良好な住環境の形成を図ります。
- 水害から都市機能や商業機能の集積地などを守るため、中橋周辺の堤防嵩上げにより、災害に強いまちづくりを進めます。
- 中橋架替事業により、南北市街地の連携強化を図ります。
- 国道 293 号及び(都)家富町堀込線沿線において、商業機能の充実に努めます。
- 渡良瀬川沿川において、市民のスポーツ・レクリエーションの場となる拠点の形成を図ります。
- 本市の主要な交通結節点である、足利駅と足利市駅の連携強化に努めます。
- 既存産業団地において、機能の維持・保全を図ります。
- 国道 50 号沿線などにおいて、産業振興を目的とした土地利用の転換を検討します。
- 矢場川の河川改修による、災害に強い環境づくりを進めます。
- 老朽化した公共施設などの適正な整備を進めます。
- 歴史的資源である藤本観音山古墳を活かした観光レクリエーション拠点の形成を進めるとともに、周辺景観の保全を図ります。
- 県道佐野太田線周辺は、八木節をはじめとした地域の歴史と文化を継承し、歴史的な雰囲気や醸成するまちづくりを推進します。

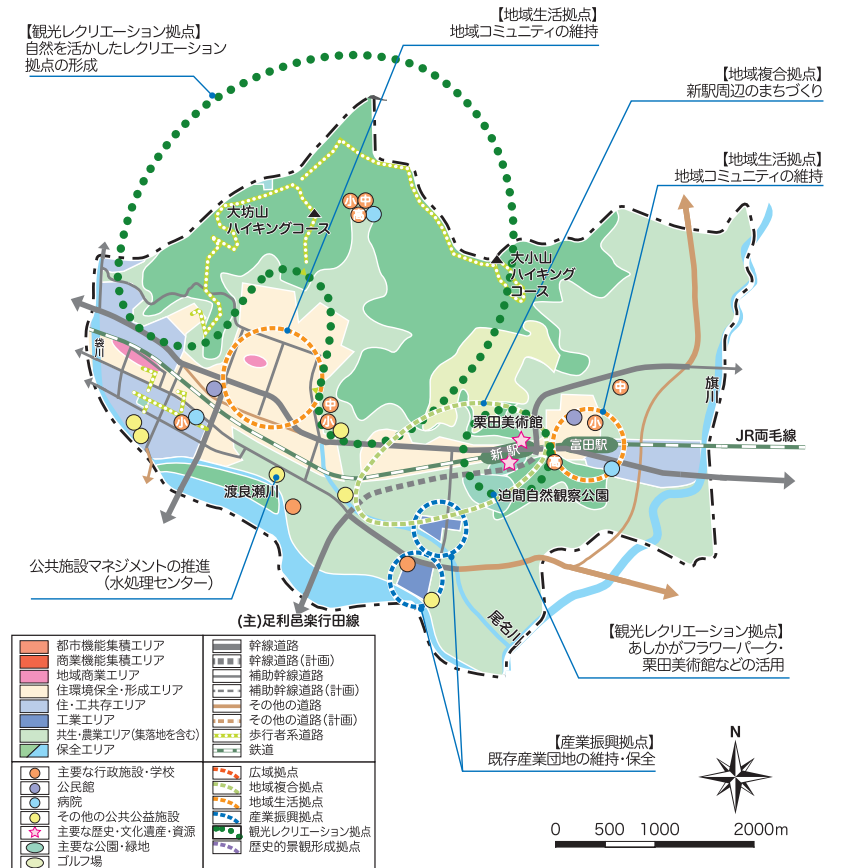


毛野・富田

様々な人々が交流する 新たな活力を創造するまち

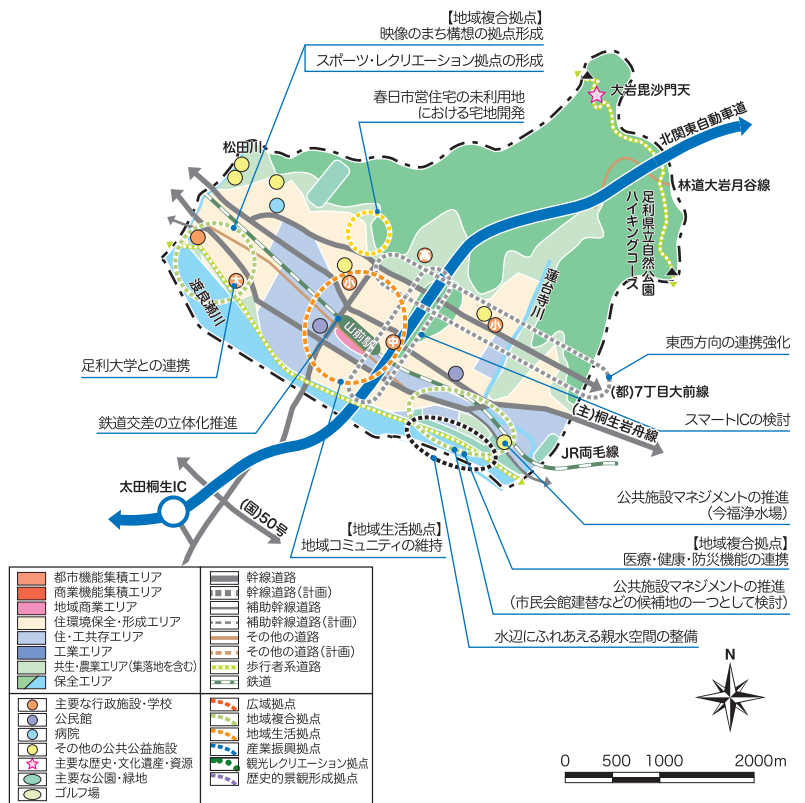
まちづくりの方針・プロジェクト等

- 新駅(あしかがフラワーパーク駅)周辺は、観光資源を活かすとともに、様々な産業の振興を図るため、地域複合拠点としてまちづくりを推進します。
- 富田駅周辺は、暮らしやすい生活環境を創出するため、地域生活拠点としてまちづくりを推進します。
- 富田地区において、JR 両毛線の南北を結ぶ、新たな都市計画道路網の検討を進めます。
- あしかがフラワーパーク・栗田美術館などの観光資源を有機的につなぎ合わせ、観光レクリエーション拠点の形成を図ります。
- 既存産業団地において、機能の維持・保全を図ります。
- 豊かな自然環境を活かした、歩いて楽しいまちづくりを推進します。
- 老朽化した公共施設などの適正な整備を進めます。
- 尾名川の河川改修による、災害に強い環境づくりを進めます。



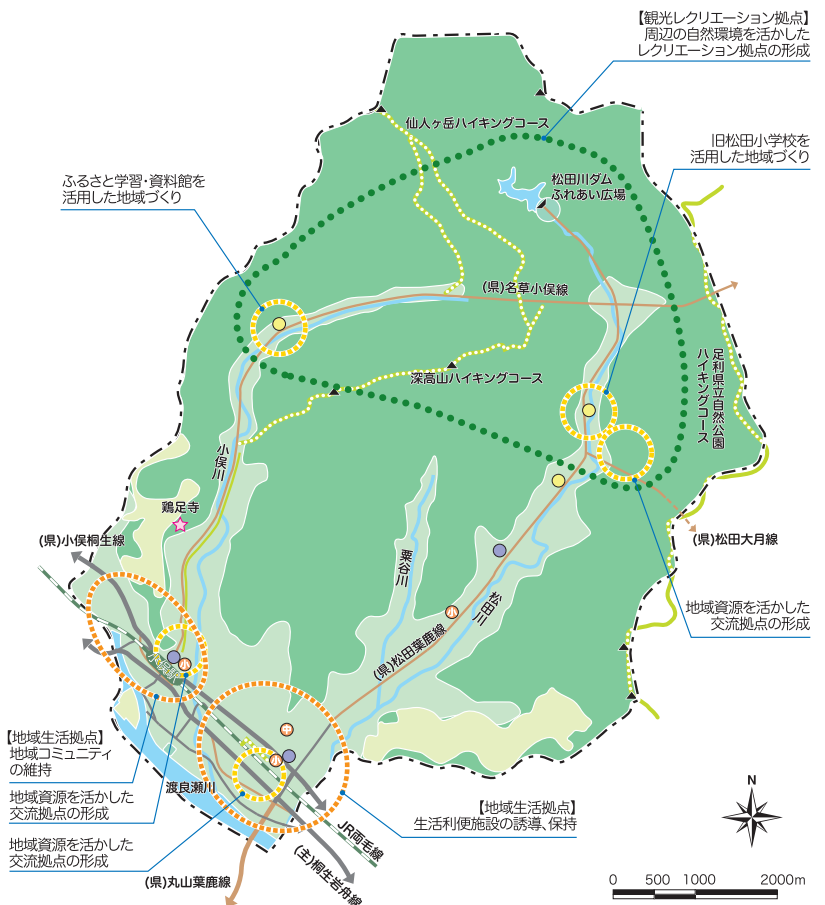
まちづくりの方針・プロジェクト等

- 競馬場跡地は、医療・健康・防災などの機能を有した地域複合拠点として形成します。
- 映像のまち構想の拠点として、旧県立足利西高等学校の有効活用を推進します。
- 春日市営住宅の未利用地は、豊かな自然環境に調和した宅地開発を進めます。
- 足利大学と連携し、市民のスポーツ・レクリエーションの場となる拠点の形成を図ります。
- 渡良瀬川や北部の山なみなど、良好な景観を保全するとともに、親しみやすい環境づくりを進めます。
- 東西方向の道路軸を強化するため、未整備箇所の都市計画道路の整備を推進します。
- 足利大学を中心に、産・学・官連携の拠点を形成します。
- 老朽化した公共施設の適正な整備を進めます。
- 蓮台寺川の河川改修による、災害に強い環境づくりを進めます。
- 北関東自動車道の連携強化を図るため、スマートICの検討を進めます。



まちづくりの方針・プロジェクト等

- 自転車や徒歩圏内に日常生活機能と居住機能が集積している葉鹿地区は、都市機能の維持・充実により、更なる利便性の向上を図ります。
- 豊かな自然環境を活かした、歩いて楽しいまちづくりを推進します。
- 旧松田小学校やふるさと学習・資料館を活用した地域づくりを推進します。
- 松田川ダムふれあい広場や松田町のホテル、小俣町の山車会館や葉鹿町の祇園屋台など、地域資源を活かした交流拠点の形成を推進します。
- 栗谷川の河川改修による、災害に強い環境づくりを進めます。



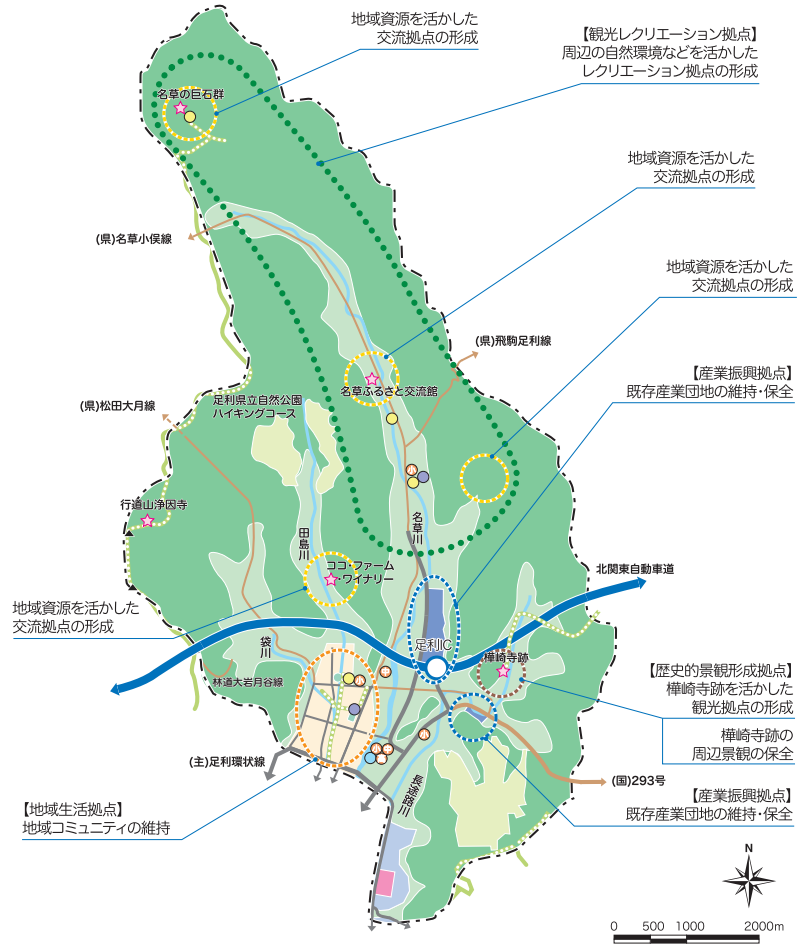
名草・北郷

自然豊かな北の郷 潤いと安らぎのあるまち

まちづくりの方針・プロジェクト等

- 歴史的資源である榊崎寺跡を活かした観光レクリエーション拠点の形成を進めるとともに、周辺景観の保全を図ります。
- 名草ふるさと交流館、名草巨石群、名草のホタル、ココ・ファーム・ワイナリーなど、地域資源を活かした交流拠点の形成を推進します。
- 豊かな自然環境を活かした、歩いて楽しいまちづくりを推進します。
- 既存産業団地において、機能の維持・保全を図ります。
- 足利インターチェンジ周辺、国道293号沿線などにおいて、産業振興を目的とした土地利用の転換を検討します。
- 名草川の河川改修による、災害に強い環境づくりを進めます。

都市機能集積エリア	幹線道路
商業機能集積エリア	幹線道路(計画)
地域商業エリア	補助幹線道路(計画)
住環境保全・形成エリア	補助幹線道路(計画)
住・工共存エリア	その他の道路
工業エリア	その他の道路(計画)
共生・農業エリア(集落地を含む)	歩行者系道路
保全エリア	鉄道
● 主要な行政施設・学校	○ 広域拠点
● 公民館	○ 地域複合拠点
● 病院	○ 地域生活拠点
● その他の公共施設	○ 産業振興拠点
★ 主要な歴史・文化遺産・資源	○ 観光レクリエーション拠点
● 主要な公園・緑地	○ 歴史的景観形成拠点
● ゴルフ場	



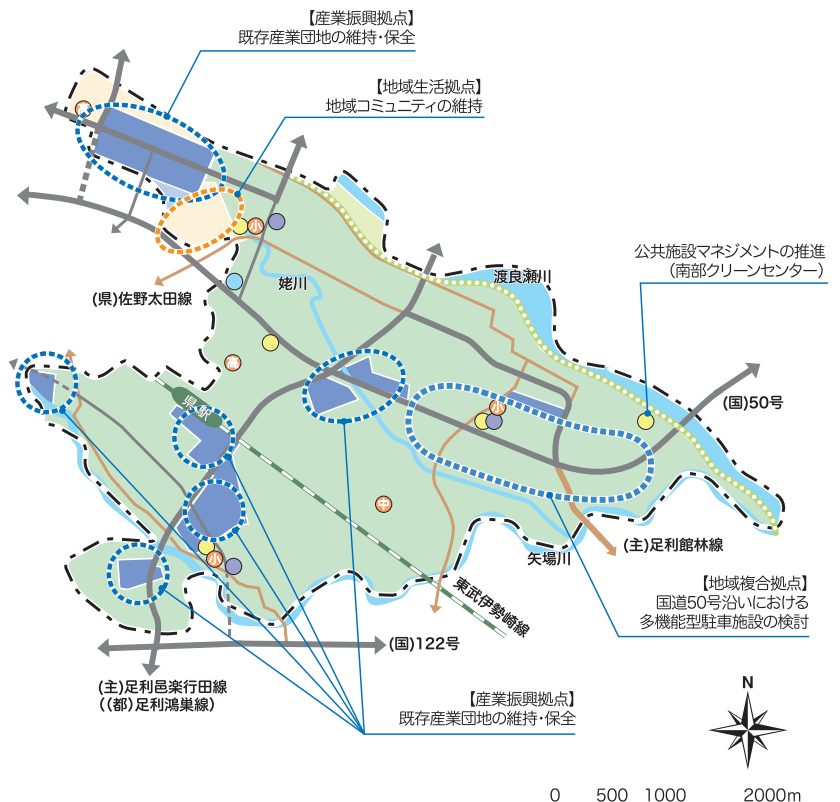
筑波・久野・梁田

豊かな田園と活力が共存するまち

まちづくりの方針・プロジェクト等

- 既存産業団地において、機能の維持・保全を図ります。
- 国道50号、(都)足利鴻巣線沿線などにおいて、産業振興を目的とした土地利用の転換を検討します。
- 老朽化した公共施設の適正な整備を進めます。
- 国道50号沿線において、農業振興や観光振興に寄与し、本市の魅力を外内に発信する交流拠点の形成を検討します。
- 姥川の河川改修による、災害に強い環境づくりを進めます。

都市機能集積エリア	幹線道路
商業機能集積エリア	幹線道路(計画)
地域商業エリア	補助幹線道路(計画)
住環境保全・形成エリア	補助幹線道路(計画)
住・工共存エリア	その他の道路
工業エリア	その他の道路(計画)
共生・農業エリア(集落地を含む)	歩行者系道路
保全エリア	鉄道
● 主要な行政施設・学校	○ 広域拠点
● 公民館	○ 地域複合拠点
● 病院	○ 地域生活拠点
● その他の公共施設	○ 産業振興拠点
★ 主要な歴史・文化遺産・資源	○ 観光レクリエーション拠点
● 主要な公園・緑地	○ 歴史的景観形成拠点
● ゴルフ場	



0 500 1000 2000m

市民と行政との協働

適切な役割分担のもと、「まちづくりの主役は市民である」との基本に立ち、市民と行政とが一体となって市民力・地域力を発揮したまちづくりに取り組みます。

- 市民との協働の推進
- 協働体制の確立

柔軟かつ効率的な都市計画

環境や福祉、教育、産業など様々な分野と相互に連携し、市民の要求に応えながら、優先度を考慮し、計画的に事業を推進します。

- 行政における推進体制の確立
- 財政面と整合した計画的・段階的な施策の推進
- 民間活力の導入

計画の進行管理と見直し

社会経済情勢の変化等を踏まえながら、PDCAサイクルによる計画の進行管理や見直しを実施し、持続的な都市の発展を図ります。

- 計画の進行管理
- 計画の見直し



近隣市町との広域的な連携強化

県境に位置する本市は、古くから両毛地域として生活圏を形成しており、これまでのまちの成り立ちやつながりを考慮し、広域的に連携することで、一体的なまちづくりを推進します。

- 本市と一体の都市として総合的に整備する区域
- 両毛6市での広域的な連携強化

まちづくりと都市・地域経営の一体的推進

足利らしい個性と愛着を感じられるまちづくりと、効率的かつ効果的な行政改革や都市・地域経営とを一体的に推進し、持続可能で質の高い都市を形成します。

- 持続可能なまちづくりの推進
- 空き家対策の推進
- 公共施設マネジメントとの連携

これからの都市計画の進め方

今後の都市計画の進め方は、都市計画マスタープランをもとに、市民と行政が協働し、市民力を活かしたまちづくりを推進していくことを基本的な考え方とします。

足利市都市計画マスタープラン

都市像の実現に向けた取り組み

- 都市構造の骨格に関わる事項、市民の生命や財産に関わる事項
- 身近な生活空間の改善、地域固有の課題の解決など、地域レベルの事項

市民

行政

協働のまちづくり

まちづくりの課題抽出（学びあい）

- 市民等が主体となったまちづくり活動の支援
- まちづくり会議等の開催
- 市民の創意と工夫の結集

課題解決に向けた計画作成（つながりあい）

- 市民と行政が連携して検討
- 市民と行政との役割の明確化
- 行政内部での検討、位置付け

市民力を活かしたまちづくりの推進



2018年3月

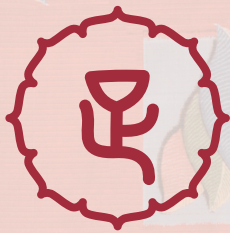
足利市都市計画マスタープラン

編集・発行

足利市 都市建設部 都市計画課

〒326-8601 足利市本城3丁目2145

電話：0284-20-2222（代表）



栃木県足利市

